持続可能な畜産物生産に関する全国セミナー開催要領（オンライン方式）

１　趣旨

農林水産省が公表した「みどりの食料システム戦略」や「持続的な畜産物生産の在り方検討会」の中間とりまとめに沿って、今後我が国で持続可能な畜産物生産を行うためには、畜産に起因する環境負荷の軽減や高齢化等に起因した畜産経営の労働力不足の解消を図るとともに、過度に輸入飼料に依存した生産システムから脱却していくことが求められている。

一方、最近のウクライナ情勢の悪化、急激な円安の進行や海上運賃の上昇を背景に、飼料、肥料、燃料など畜産物生産に必要な資材の価格が高騰しており、こうした生産資材の価格が上昇している状況が長引けば、酪農や肉用牛経営に与える影響はより深刻になることが懸念される。

我が国の飼料全体の自給率が２５％の中、酪農・肉用牛経営の生産基盤の強化のためには、経営コストの３割から５割を占める飼料費の低減はいかなる情勢に関わらず必要不可欠であり、持続的な畜産物生産を図っていくためには、国産飼料の生産・利用の拡大を進めることが喫急の課題となっている。

本セミナーでは、飼料基盤に立脚した畜産経営の展開を図っていくため、持続可能な土地利用型の家畜生産システムに関する講演、国の支援措置及び生産現場で活用できる技術を紹介し、もって、持続可能な畜産物生産の拡大に資する。

２　主催　　一般社団法人日本草地畜産種子協会

３　日時　　令和４年８月３０日（火）　１３：３０～１６：５０

４　内容　　※講演時間は質疑を含む。

（１）開会　　13:30～13:35（5 分）

（２）基調講演

「持続可能な土地利用型の家畜生産システムについて」（仮題）13:35～14:25（50 分）

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター

統合研究領域 複合フィールド分野

（耕地圏ステーション 静内研究牧場　牧場長）

准教授　　河合（かわい）　正人（まさひと）　氏

（要旨）放牧主体の土地利用型生産体系による「北大短角牛」の生産・ブランド化に至る研究の成果と課題及び今後の方向性について、解説する。

（３）情勢報告　　14:25～14:40（15 分）

「持続可能な畜産物生産を巡る情勢について」（仮題）

農林水産省 畜産局 飼料課 飼料生産計画班

課長補佐　　宮腰（みやこし）　伸（しん）　氏

（要旨）「みどりの食料システム戦略」、「持続的な畜産物生産のあり方検討会中間とり

まとめ」を普及するための施策や予算の概要について報告する。

休　憩　　14:40～14:50（10 分）

（４）情報提供

ア　「越夏性を向上させた牧草（夏ごしペレ）の利用技術について」（仮題）

14:50～15:20（30 分）

農研機構東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 生産力増強グループ

上級研究員　藤森（ふじもり）　雅博（まさひろ）　氏

（要旨）越夏性に優れるペレニアルライグラス「夏ごしペレ」について、品種特性や利用法等を紹介する。

イ　「子実用トウモロコシの収穫・調製技術について」（仮題）

15:20～15:50（30 分）

農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究領域

領域長補佐兼飼料生産利用グループ長　河本（かわもと）　英憲（ひでのり）　氏

（要旨）子実用トウモロコシの生産・利用の拡大に向けて、生産現場で活用できる収穫・調製技術を紹介する。

ウ　「イネＷＣＳの乳牛への給与技術について」（仮題）　15:50～16:20（30 分）

広島県立総合技術研究所畜産技術センター 飼養技術研究部

研究員　新出（しんで）　昭吾（しょうご）　氏

（要旨）イネＷＣＳを乳牛に給与するに当たって、効果的に生産性を高めるための適切な給与技術を紹介する。

エ　「荒廃農地を放牧地に再生する技術について」（仮題）　16:20～16:50（30 分）

農研機構 西日本農業研究センター 周年放牧研究領域 周年放牧グループ

上級研究員　平野（ひらの）　清（きよし）　氏

（要旨）耕作放棄地や未利用地に繁茂している雑草や雑木を細かく粉砕し、土壌に鋤き込んで分解を促進する作業機の活用など荒廃農地を放牧地に再生する技術を紹介する。

（５）閉会　　16:50

５　参加料：無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス（内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン）は参加者にて用意願います。

６　視聴方法：Zoom にて実施しますので、Zoom に接続できる環境をご準備ください。
※　後日、(株)マイナビから参加予約者に向けて視聴方法のご案内を行う予定です。

７　参加申込み方法
（１）マイナビ農業サイト（URL: https://agri.mynavi.jp/2022_07_11_197341/）からお申込みください。
申込期間：令和４年７月１１日（月）から８月２６日（金）

（２）参加予定枠　１５０名程度

８　問い合わせ先
（１）Web セミナーの実施内容に関すること
一般社団法人 日本草地畜産種子協会 草地畜産部　担当：武田哲夫
（TEL：03-3251-6501　E-mail：takeda@souti-fsa.or.jp）

（２）Web セミナーへの参加方法及び Web サポートに関すること。
株式会社マイナビ 農業活性事業部 イベント運営チーム　担当：谷藤、堀越
（7 月 22 日まで　TEL：03-6667-1181　E-mail：agri-webcast@mynavi.jp）
（7 月 25 日から　E-mail：agri-webcast@mynavi.jp）